

令和2年度琉球大学法科大学院  
乙方式（未修者コース）11月期 入試問題

小論文

令和2年1月12日（日曜日）  
9時00分～10時30分（90分）

注意事項

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いのないように受験してください。

- 1 この試験では、問題冊子1部、解答用紙2枚、下書用紙3枚を配布します。  
試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 試験開始後、問題の部分に印刷不鮮明、汚損等があれば直ちに申し出てください。
- 3 解答は、必ず解答用紙に記入して下さい。解答に用いたすべての解答用紙の所定欄に、受験番号、氏名を記入してください。
- 4 黒色または青色であれば筆記用具は問いません。ただし、鉛筆書きの場合は文字が薄くならないように十分注意してください。
- 5 試験開始後は、途中退席できません。用便を希望する際は手をあげてください。
- 6 試験終了後、解答用紙を回収するので、指示があるまで席を立たないでください。  
配布した解答用紙は、書き損じや未使用のものも含めて、すべて回収します。  
問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。
- 7 その他は、すべて監督者の指示に従ってください。

## 問題

次の【文章】を読んで、「設問1」及び「設問2」に答えなさい。

### 【文章】

(問題文については、著作権の関係で当Webページには掲載しておりません。)



(上野千鶴子「情報生産者になる」(ちくま書房) 009～011 頁「はじめに 学問したいあなたへ」)

〔設問1〕 著者のいう①「情報生産者になる」とはどういうことかを、70字以内で述べなさい。

〔設問2〕 ②「情報生産者になることは、情報消費者になることよりも、何倍も楽しいし、やりがいも手応えもあります。」という著者の記述に対するあなたの考えを、あなた自身の経験を踏まえつつ、あるいは自身の『発信』経験がない場合には自分が『発信』することを想定して、400字以内で述べなさい。

### 【出題趣旨】

初めに、著者が高等教育経験を通じて重視してきた「情報生産者になる」ことが、「まだ誰も解いたことのない問いを立て、証拠を集め、論理を組み立てて、答えを示し、相手を説得するプロセス」(研究)を通じて情報生産者になることを指していることを読み取ることができているかを測定する。

この理解を前提に、受験者自身が、「情報生産者になることは、情報消費者になることよりも、何倍も楽しいし、やりがいも手応えもあります。」という著者の記述に対する考えを、受験者の経験に触れつつ具体的かつ説得的に論じることを求める。

### 【採点基準】

#### 1. 設問1 (7点)

出題趣旨前段の内容が指摘できているかどうかを評価する(表現は異なっても構わない)。

#### 2. 設問2 (18点)

(1) 「あなたの考え」を述べていること (3点)

(2) 「あなたの考え」が次の点を踏まえて述べられていること (15点)

ア 自身の経験または想定を踏まえて具体的に述べていること (5点)

イ 説得的に述べていること (5点)

ウ 記述が論理的に整合していること (5点)

\*いずれも、字数制限を超えた記述については採点対象としない。